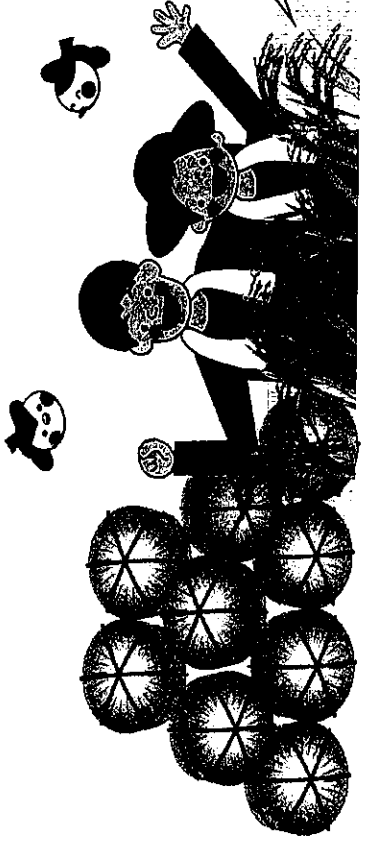
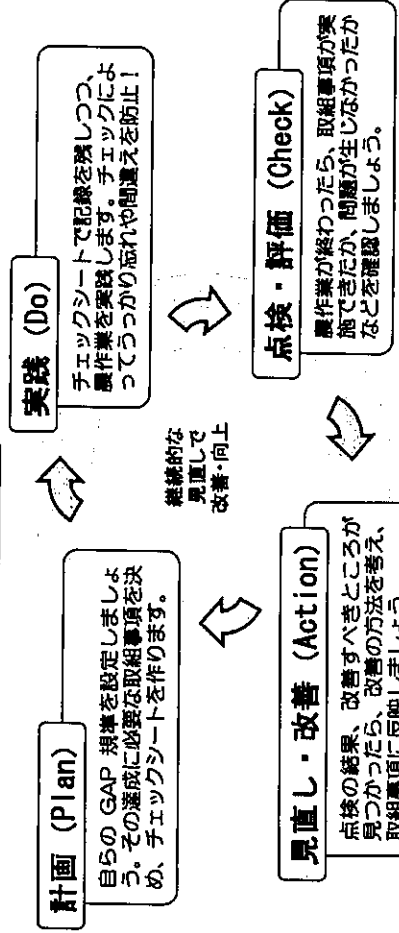


作業終了後の記入を徹底
しましょう。
記入漏れやGAPシート
のチェック漏れに注意しまし
よう。



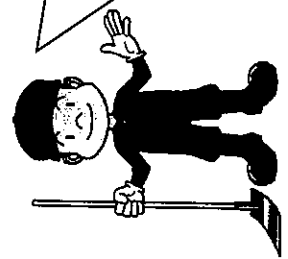
- JA米の条件**
- ①品種が確認できた種子により栽培した米穀
 - ②登録検査機関で受検された米穀
 - ③栽培記録簿の記帳内容をJAが確認し適切であると認められた米穀

Good Agricultural Practice で、安全・安心みな穂米を消費者へ
実践の 良い 実践



「GAP」の実践
計画に対し「実践」、「点検・評価」、「見直し・改善」を繰り返す「PDCAサイクル」を用いた
工程管理を行っていくことがGAPの実践になります。

上記3つの視点から農業生産活
動に潜むリスク(危険)を事前に把
握・分析しておき、リスクの発現を
未然に防ぐことで、結果として『良
い』農業生産活動とする取組みが
『GAP』です。



- 「とやまGAP」の実践より良い農産物を
①安全な農産物の生産
生産した農産物が人の健康にとって安全かどうか
②環境の保全
農産物の生産によって環境が脅かされていないかどうか
③農産物の安全確保
農産物の生産活動によって農産物の安全が確保されているかどうか

令和6年産米 栽培記録簿 (GAP確認シート付) ～JA米基準～

| | | | |
|-----------------|-------|---------|------|
| 氏名 | | 地区 | 生産組合 |
| 住所・電話 | | 富山県下新川郡 | |
| TEL () () () | | | |
| 品 種 名 | 富富富 | | |
| 出 荷 区 分 | 出荷契約米 | | |

- ★ 提出は、収穫後、出荷前までお願いいたします。
- ★ 出荷の有無を問わず、生産者全員記帳・提出をお願いいたします。
- ★ 作業を終えたら、忘れずに記帳しましょう。

JAみな穂

令和6年産米 栽培記録簿・GAPチェック①

| | | |
|---------|---------------|-----------|
| 種 別 | 購入先: JA | その他 () |
| | 数 量: kg(消毒種子) | 米消毒種子 |
| 播 種 | 播種量: g /箱 | |
| | 播種日: 月 日～ | |
| 苗 | 購入先: | 箱(内苗箱胞葉入) |
| | 数 量: | 箱 |
| 栽 植 | 栽 植 密 度: | 株 植 え |
| | 株 数: | |
| 区 分 | 作業名等 | 作業月日等 |
| | 耕 起 | 月 日～ |
| 本 田 管 理 | 荒 代 か き | 月 日～ |
| | 代 か き | 月 日～ |
| 中 干 し | 田 植 え | 月 日～ |
| | 中 干 し | 月 日～ |
| 出 穂 | 出 穂 期 | 月 日～ |

| | |
|-------|---------|
| 作 業 名 | 作 業 月 日 |
| 収 穫 | 月 日～ |
| 乾燥・調製 | 月 日～ |
| 出 荷 日 | 月 日～ |

JAみな穂 栽培記録簿

検索

ホームページからダウンロードできます！

※JA記入

| | | |
|------------------|---------|-----|
| 記録簿確認 | 安全安心担当者 | 課 長 |
| 確認者氏名 (地区担当者) | | |

令和6年産米 栽培記録簿・GAPチェックシート②

氏名

| | | | |
|----|-----|----|---|
| 品種 | 富富富 | 区分 | a |
| 面積 | | | |

出荷契約米

| 区分 | 肥料名 | 施用月日 | 施用量 |
|------|-----------|------|--------|
| 土づくり | 珪酸石灰(粒) | 月 日～ | kg/10a |
| | シリカパンチF | | |
| | アサヒニューテツ | | |
| | 発酵ケイフン(粒) | 月 日～ | kg/10a |
| 基肥 | 苦土重焼燐 | 月 日～ | kg/10a |
| | 基肥206号 | 月 日～ | kg/10a |
| | 富富富一発 | 月 日～ | kg/10a |
| 中間追肥 | エスアイ加里らくだ | 月 日～ | kg/10a |
| | ①追肥3号 | 月 日～ | kg/10a |
| 穂肥 | ②追肥3号 | 月 日～ | kg/10a |
| | | 月 日～ | kg/10a |

| 区分 | 農薬名 | 成分数 | 使用月日 | 希釈倍数 | 使用量 |
|-------|-------------|-----|------|-----------|-----|
| 種子消毒 | テクリードCフロアブル | 1 | 月 日～ | 7.5倍 | |
| | イチパン乳剤 | — | 月 日～ | 500～1000倍 | |
| 育苗防除等 | フェルテラ箱粒剤 | 1 | 月 日～ | 倍 | g/箱 |
| | | | 月 日～ | | g/箱 |

※設問に該当する場合は、右側のチェック欄に✓を記入して下さい。

【作付け計画】

| | |
|---|----|
| 農事座談会への参加やパンフレット(営農情報、稲作ごよみ等)の活用などにより情報収集しましたか。 | 3月 |
| 経営規模・機械装備に応じ、バランスの取れた品種構成で作付けを計画しましたか。 | 3月 |
| 自家採取種子を使用せず、品種ごとに区別して作業しましたか。 | 4月 |

【土づくり】

| | |
|--|--------|
| 土づくり資材(ケイ酸資材等)や有機物(堆肥、緑肥等)の施用による土づくりを行いましたか。 | 4月 |
| 稲わらは野焼きせず、堆肥の原料や飼料として利用したり、ほ場にすき込むなど適正な処理をしましたか。 | 前年11月～ |

【肥料の適正使用】

| | |
|---|----|
| 基肥は「稲作ごよみ」による施用基準等に則して、適正に施用しましたか。 | 5月 |
| 生育量に応じて、適正に追肥(穂肥)を施用しましたか。 | 7月 |
| 【とやまGAP18】肥料の購入伝票を保存するとともに使用状況を生産履歴簿等に記録をしましたか。 | 随時 |

【登熟期間の湛水管理】

| | |
|---|-------|
| 出穂期から20日間の湛水管理(田面水の深さ2～3cm程度)を行いましたか。(稲体の活力維持、カドミウムの吸収抑制) | 8月～9月 |
|---|-------|

| 区分 | 農薬名 | 成分数 | 使用月日 | 希釈倍数 | 使用量 |
|------|----------------------|-----|------|------|-----------|
| 除草剤 | かねつぐ1キロ粒剤(初期) | 2 | 月 日～ | | kg/10a |
| | マーシェット1キロ粒剤(初期) | 1 | 月 日～ | | kg/10a |
| | プライオリティ1キロ粒剤(一発) | 2 | 月 日～ | | 10a |
| | プライオリティ豆つぶ250 | 2 | 月 日～ | | kg/10a |
| | アクシズMX1キロ粒剤 | 3 | 月 日～ | | kg/10a |
| | ①バリダジヨーカー粉剤DL | 2 | 月 日～ | | /10a |
| 粉剤 | ②ラブサイドキラップ粉剤DL | 2 | 月 日～ | | kg/10a |
| | | | 月 日～ | | kg/10a |
| | | | 月 日～ | | kg/10a |
| | | | 月 日～ | | kg/10a |
| | | | 月 日～ | | kg/10a |
| | | | 月 日～ | | kg/10a |
| 液剤 | ①モンカトフロアブル+スタークル液剤10 | 2 | 月 日～ | 倍 | kg/10a |
| | ②ラブサイドK2フロアブル | 2 | 月 日～ | 倍 | kg/10a |
| | | | 月 日～ | 倍 | kg/10a |
| | | | 月 日～ | 倍 | kg/10a |
| | | | 月 日～ | 倍 | kg/10a |
| | | | 月 日～ | 倍 | kg/10a |
| 無人ヘリ | ①モンカトフロアブル+スタークル液剤10 | 2 | 月 日～ | 倍 | 0.8kg/10a |
| | ②ラブサイドK2フロアブル | 2 | 月 日～ | 倍 | 0.8kg/10a |
| | | | 月 日～ | 倍 | 0.8kg/10a |
| | | | 月 日～ | 倍 | 0.8kg/10a |
| | | | 月 日～ | 倍 | 0.8kg/10a |
| | | | 月 日～ | 倍 | 0.8kg/10a |

※使用した農薬の成分数合計の記入をお願いします。(12成分以内)

成分数合計

その地取組作業のチェック項目(該当作業にチェックをお願いします)

- 農薬を使用せず、約60℃の温湯に種籾を浸種し、種子消毒を行っている。
- 専用機械で育苗施薬を播種と同時に施用している。
- 専用機械で育苗施薬を田植と同時に施用している。
- スマート農機の活用(水管理システム・GPSコンバイン・Z-GIS等の営農管理システム)
- 専用機械で肥料を田植と同時に施用している。
- 専用機械で除草剤を田植と同時に施用している。
- GPS機能付きの田植機で田植作業を行っている。
- 土壌診断を踏まえた施肥・土づくりを行っている。

【農薬の適正使用】

| | |
|--|-------|
| 農薬は「稲作ごよみ」や農薬ラベルに記載されている使用量、時期、回数を守って使いましたか。 | 随時 |
| 農薬散布時は防護マスク、手袋、長そで、長ズボンを適切に着用しましたか。 | 随時 |
| 代かき後の濁水の流出防止や除草剤施用後7日間の止水管理をしましたか。 | 5月～6月 |
| 周辺作物や住宅地等への農薬の飛散防止と防除前の周知に努めましたか。 | 随時 |
| 動力散布機・噴霧機等の使用前後に点検とタンクの清掃を行いましたか。 | 随時 |

【廃プラスチックなどの適正処理】

| | |
|---|----|
| 肥料袋、農薬の空容器などの農業用の廃プラスチック類はJA等の廃プラ回収により適正に処理しましたか。 | 随時 |
| 【とやまGAP35】 | |
| 【燃料の適正管理】 | |
| 燃料は専用の容器に入れ、風通しの良い場所で保管していますか。 | 随時 |
| 【とやまGAP33】 | |

【収穫・乾燥・調製】

| | |
|--|-------|
| コンバインや施設内等の清掃・点検を徹底し、異品種や異物が混入しないよう、注意しましたか。 | 8月～9月 |
| 【とやまGAP37】 | |
| 稲黄化率などを確認し、適期収穫を行いましたか。 | 8月～9月 |
| 米穀収穫後、乾燥は適切な温度管理で行いましたか。 | 9月～ |
| 【とやまGAP39】 | |
| 玄米の出荷容器的記載事項、量目をきちんと確認して袋詰めしましたか。 | 10月～ |
| 【とやまGAP40】 | |

チェック時期 (目安)